

教育・研究情報化推進部会の活動について

教育・研究情報化推進部会長 鈴木 恒雄
FD・ICT教育情報システム WG 主査 堀井 祐介

1 はじめに

教育・研究情報化推進部会は、平成20年度に設置された情報戦略本部におかれた部会の一つであり、「教育・研究に係わる情報システムの整備及び運用に関すること」、「情報サービスの高度利用に関すること」などについて検討を行う部会である。同部会には、さらにFD・ICT教育情報システムWGが設置され、「FD・ICT教育に係わる情報システムの整備及び運用」などについてFD・ICT教育推進室と連携し議論する場となっている。ここからは、金沢大学における教育、研究分野における情報化推進について、これまでの活動の概略と今後の活動方針について述べさせていただく。

2 これまでの活動

平成16年度採択現代GP「IT教育用素材集の開発とIT教育の推進」をきっかけに、金沢大学における教育の情報化は大きく進展した。より質の高い教育を目指してのオリジナルe-Learning教材開発、学習管理システム(LMS)活用による教育改善などが進められ、平成18年度からは新入生携帯型PC必携となり、学生支援、学習支援、教育支援の情報化推進の中心的役割を担うアカンサスポータルの本格

運用も始まった。上記現代GP終了後、平成19年度からは、そのGPの体制を引き継ぐ形で学内常置組織としてICT教育推進室が設置され、平成20年度からはFD・ICT教育推進室として学内における教育面での情報化の中心的役割を果たしている。FD・ICT教育推進室は、学長補佐を室長とし、実務委員会の下に、FD/SD・ICT教育支援、教材作成、ICTシステム開発・管理の3部門が置かれている。

FD・ICT教育推進室では、ICT活用による授業改善、アカンサスポータル利用促進および利用者支援、オリジナルe-Learning教材作成および教材作成支援、必携PC関連サポート、ICT活用授業設計などを通して教育面での情報化を推進してきている。

3 今後の展望

過去3年間のアカンサスポータル活用を通して、教育面でのポータルシステムの有効性は十分確認出来ている。今後は、ICT活用による情報共有、情報公開、コミュニケーション促進の切り札として教育面だけでなく、研究、管理・運営までを対象とした金沢大学全学ポータル(仮称)の構築について、学内関係部署と協力の上、本部会において検討を進めていきたい。

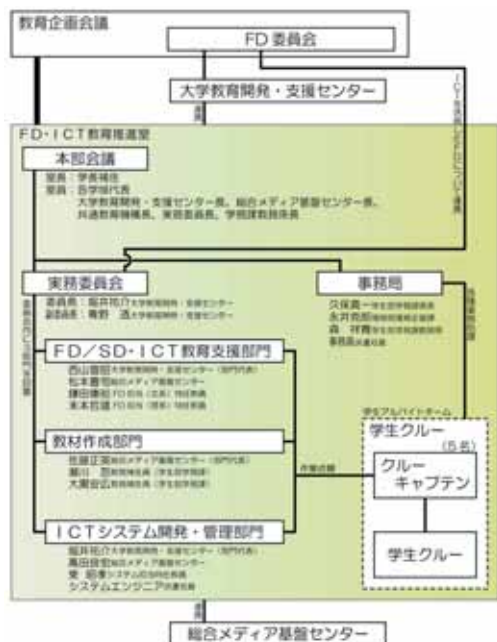
研究面では、共同研究者間での情報共有、連絡体制整備などによる研究推進支援が、管理・運営面では、各種委員会等会議体における議事録、資料等掲載による情報共有、スケジュール確認、各種申請等インターフェース統一による作業効率向上などが全学ポータルにより実現可能となる。

全学ポータル利用の入り口として全学認証基盤の整備(安全、安心なシングルサインオン環境)については、総合メディア基盤センター、情報部、情報戦略本部各部会等との連携で進めていきたい。

また、現在、これら認証基盤整備の一環として、学生証、職員証のICカード化の検討も行っている。

4 むすび

このように、教育・研究情報化推進部会としては、これまでの活動を発展させる形で、学生向けサービス、教職員向けサービスをICTを活用し、より効率的に進めることで、全学的な教育・研究分野での情報化を進めていきたい。



FD・ICT教育推進室組織図